

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

第5回六カ国協議第3セッションの開催と合意

2007年2月8日～13日、第5回六カ国協議第3セッションが中国・北京で開催された。ここでは、2005年9月19日の「第4回六カ国協議に関する共同声明」を実施するための「共同声明の実施のための初期段階の措置」が採択された。

この「共同声明の実施のための初期段階の措置」には、2月13日から60日以内に実施する項目として、寧辺の核施設（再処理施設を含む）の最終的放棄を目的とした活動の停止及び封印とIAEA要員の復帰、北朝鮮による、共同声明にいうすべての核計画（使用済燃料棒から抽出されたプルトニウムを含む）の一覧表についての五者との協議、北朝鮮とアメリカの間の未解決の二者間の問題の解決と完全な外交関係を目指すための協議の開始、それともなう北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除作業の開始と北朝鮮に対する対敵通商法の適用終了のための作業推進、

北朝鮮と日本が平壤宣言に従って、不幸な過去を清算し懸案事項を解決することを基礎として、国交を正常化するための措置をとるための二者間の協議開始、共同声明のセクション1及び3に関連する北朝鮮に対する経済、エネルギー及び人道支援への協力、が規定されている。また、5万トンの重油に相当する緊急エネルギー支援の最初の輸送が、60日以内に開始されることも規定している。

同時に、朝鮮半島の非核化、米朝国交正常化、日朝国交正常化、経済及びエネルギー協力、北東アジアの平和及び安全のメカニズムの5つの作業部会が2月13日から30日以内開催されることも規定されている。

その他、初期段階の措置の段階及び次の段階（北朝鮮によるすべての核計画についての完全な申告の提出並びに黒

鉛減速炉及び再処理工場を含むすべての既存の核施設の無能力化を含む）の期間中、北朝鮮に対して、合計100万トンの重油に相当する規模を限度とする経済、エネルギー及び人道支援が提供されるとの規定がある。

また、初期段階の措置が実施された後、六者は、共同声明の実施を確認し、北東アジア地域における安全保障面での協力を促進するための方法及び手段を探究することを目的として、速やかに閣僚会議を開催するとの規定もある。

このように、第5回六カ国協議第3セッションでは、単に北朝鮮の核放棄を促すだけでなく、北東アジアの平和体制を構築するためのメカニズムについての初歩的合意がなされたと評価することができよう。

南北経済協力の動向

開城工業地区（開城工団）の現状

開城工業地帯は第1段階100万坪（3,285km²）のうち、まず28,000坪について、15の企業を入居させるパイロットプラン（モデル団地）が完成し、15の企業すべてが操業を行っている。

第1段階の本団地については、2006年5月末に敷地の造成工事が完了し、道路や上下水道、緑地等の団地内の施設については、2007年5月の完工を目指して建設工事が進められている。2006年12月末現在の工事進捗率は86%である。また、3万トン/日の処理能力を持つ污水处理場、6万トン/日の処理能力を持つ用水施設、1.5万坪（約49,000m²）の廃棄物処理施設は2007年6月完成予定である。電力供給については、15.4KVの送電線および10万KWの能力を持つ変電所が2007年上半年に完成予定である。

第1段階の本団地のうち、5万坪（17万m²）について、分譲が行われている。2006年12月末現在で3社が操業開始（試験操業段階）、9社が工場建設中である。

表1 開城工業団地本団地第1期の分譲の現状

区分	業種	会社名
一般工場用地	繊維縫製・衣類	ソフファ物産、ジーアイシー商社、ソド産業、チョウンサラムドゥル、エムエヌエス、珍グライダー、アイボリー、コットンクラブ、平安、ジェイル商品、ユギル繊維工業社、緑色繊維、エスヌジー（13社）
	皮革カバン・履物	アートラン、ジェイソン商社、ミリオンズ、平和流通（4社）
協同化事業団地	繊維縫製・衣類	マンソン、韓国マイクロフィルター、ファインレナウン（3社）
	皮革カバン・履物	サムドク通商、ヨンイル新素材、ヨンファ商社（3社）
アパート型工場用地	繊維縫製・衣類	韓国産業団地公園が建設、分譲
	皮革カバン・履物	

（出所）韓国統一部『開城工団事業推進現況』（2006.12）8ページの表より作成。

開城工業団地で働く北側の労働者は、2007年1月現在で11,342名と着実に増加している。

（ERINA調査研究部研究主任 三村光弘）